

2023年(令和5年)

shin koh

心耕9月号

ラケビ-W杯が始まるよー

しん こう

西光寺々報

今月の行事

十二日(火)はじめの一步

午後一時より 阿弥陀経を学びます

秋季彼岸会

全て午後一時より

二十一日(金)

後夜礼讃 若住取

二十三日(土)

晨朝礼讃 住取

二十四日(日)

日中礼讃 三島さん

節談説教築地本願寺ツアー

四と五日で行ってくださる!

おみがさ

二十日(水)

午前十時

仏具をみかきます 弁当有!

草取り

十七日(日)

午前八時

ヨガ

五日、十九日

午後一時

寺カフエ

十日(日)

午前十時

認知症サポーター養成講座 昼食付

勉強会

社年会六日

午後六時

写経会

婦人会十一日

午前十時

お朝事

毎朝六時半〜 五日休み

例年の分盆参りだと、夕方に

なるとヒグラシがカナカナと

鳴っていた。あー夏も終わりか

と思っただが、今年も鳴って

いな。まだまだ夏は続きそう

です。セミさんは、連糸アレーで

我々に季節を教えてくれます。

ジージーと夏は始まり、ミンミンツク

ツクワシワシと夏盛り、カナカナと秋

の訪れを覚えてくれます。お祈り

お彼岸家庭参り希望の方

お彼岸の家庭参りは、お寺

に直接電話をして予約して

下さい

内願法名ニ希望の方

十月十二日に、西光寺で築地参り

をします。法名をその時載ることが

できます。ご希望の方は、連絡下さい

法座案内

十二日(火) 十三時～十五時

はじめの一步 第二回

阿弥陀経を学びます。今回はDVD鑑賞です。初めての方もぜひ参加して下さい。

二十二・二十三・二十四日

秋季彼岸会

三日間ともに十三時～

彼の岸、極楽浄土を思わさせていただく時間、いのちを考える時間、阿弥陀如来のすくいを考える時間、それが彼岸会です。

- 二十二日(金) 後夜礼讃 若住職
- 二十三日(土) 晨朝礼讃 住職
- 二十四日(日) 日中礼賛 三島さん

***感染症予防にご協力を**

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半～七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。
*五日はお休み

・草取り

十七日(日) 八時～九時 是非お手伝いを

・写経会

八日(金) 十三時～十五時

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 六日 十月は四日 十八時～
婦人会 十二日 十時～

・おみがき

仏具をきれいにします。簡単な作業です。
二十日(水) 十～十二時 弁当付

・西光寺チャンネル新作動画配信

YOUTUBEチャンネルにて新作仏教紙芝居「象と蛇との間には」の動画を配信！西光寺チャンネルで検索か、以下QRで



みんなの寺カフェ

認知症サポーター養成講座



認知症サポーターとは？
 認知症の人と関わりながら生活できるようにサポートする役割です。
 大人も子どもも一緒に参加して学び、成長します。

9月10日(日) 10:00～12:30
 会費: 大人 500円 / 子ども(18歳未満) 無料 *昼食付
 予約制: あり *予約制
 場所: 西光寺 志摩市根田 723-1
 連絡先: 0138-22-7112
 *認知症予防にご協力をお願いします。
 主催: みんなの寺カフェ 共催: 西光寺子ども会

・みんなの寺カフェ 九月は認知症について

世代や立場を超えて集う寺カフェ
内容 認知症サポーター養成講座
講師 地域包括支援センターこくぶんじ台
日時 十日(日) 十時～十二時半
昼食付 大人五〇〇円 子ども無料
予約制 お寺まで 締切 九日

・「はじめのヨガ@西光寺」

開催日 五、十九日
時間 十三時～十四時半
会費 一回千円 予約不要
持ち物 ヨガマット

・お彼岸家庭参り

家庭参りご希望の方は、お寺まで連絡をしてください

経律論

三蔵法師という言葉はどこかで聞いたことはありませんか。西遊記に

てくる三蔵法師は、玄装三蔵法師です。ガンダーラに向かい仏教を学び、翻訳をしようと旅をされました。このときの、仏教の教えは大きく三つに分類されます。それが今回ご紹介の経律論です。

経とは釈尊の御教えのこと。律とは仏教教団の規則のこと。論とは経を解釈したものです。

お釈迦様は、相手に応じて教えを説かれました。ところが、入滅後、混乱が起きました。それぞれ言われたことが違うからです。そして、残る弟子たちと何度も会議が開かれました。お釈迦様の側で一番話を聞いていた阿難が、教え(経)について皆に伝え、一番戒律を守っていたウパーリが律について皆に伝えました。これが初期の経と律の成立です。その後の解釈である論は、律の解釈について保守派と進歩派に分裂した後に、それぞれの解釈を論じたものが論として成立していきます。論は仏教が色々と展開していく証拠なのです。



これらの経律論に精通したものを三蔵法師と言いました。

まよへか
三〇〇を
涼しいと
教私

感へじるくは

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

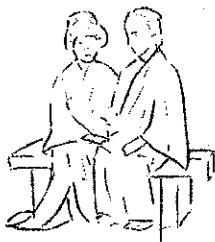
義理

義理の意味は多様です。辞書を引きますと

- 1, 物事の正しい道筋。人として守るべき道理
- 2, 社会生活を営むうえで、他人に対して務めたり報いたりすること。例：〇〇には義理がある
- 3, つきあい上仕方なくする行為 例義理で〇〇する。義理チヨコ
- 4, 血の繋がっていない親族関係 例義理の母
- 5, わけ、意味

様々な意味があります。仏教に出てくる義理は1に属するのですが、対人関係ではありません。仏の教えや経典の正しい道筋、道理という意味で出てきます。

これが、江戸時代になると儒教、朱子学の影響により、人間関係に多く用いられるようになります。義理を果たすといったように。武士から町人にも広まり、義理と人情という対立構造がなされていきます。江戸時代の文芸作品には近松門左衛門の『曾根崎心中』のように義理と人情を揺さぶる作品が多いの



は、義理の意味の変化が大きく影響していると言えるでしょう。真宗の義理は、阿弥陀如来におまかせするということです。



信心 『大經』十八

十七願はとても重要な願です。私たちを掬い取るための浄土国が建立されたのです。往ける場所帰る場所が出来て有るのです。十方の諸仏が称賛する声に私たちの内なる仏性が叩き起こされ、念仏阿彌陀佛せしめられるのです。親鸞聖人は「しめ」とか「せよ」など尊敬の意味が雑じった命令や使役の言葉を使用します。それは阿彌陀さんからの勅命お勅めを意味します。本質的に私たちは自らの力で行為念仏等することが出来ないからです。他の力に依らなければならぬからです。和讃などでも沢山出てきますが、弥陀の勅命、他力でしかないことを自己親の内においてひたすら確認しているのです。ここを踏まえて十八願が置かれるのです。

自分の力で何でもするのだと思ひ込んでいるうちは諸仏称賛の声は聞こえてこないのです。お釈迦様は苦行自カは何の役にもたたなかつたと気付かれたとき自然の声を聞いたのです。私達も自分の力が何の役にもたたないことの自覚を至心しんといひます。そのような自覚、気付に心が至いたるときがあるはずで、親鸞聖人は「心」と「しん」を分けて論じています。こころは嘘つきです。こころと変わるからです。しんは真又は信と同義で揺れ動かない意味に使われています。

自力の無効に気付かれたとき、諸仏称賛の声を内なる仏性が反応し、諸仏と呼応する声を聞いて、阿彌陀仏の存在を信じ喜び知って楽しくなるのです。これを信樂しんぎょうと言ひます。信樂の樂ぎょうを願うの意味付けも有るようですが、素直に樂しく喜ぶでいいと思ひます。本当に樂しいときは、何の疑いも有りません。ただ樂しいのです。往く場所帰る場所がある事信じが知られて心がウキウキするのです。そして

はつきりと弥陀の呼び声が聞こえるのです。欲生我國よくしやうがこくです。通常は欲を「願う」とか「望む」とかの意味に解しているようですが、生おという動詞の上に付く欲よくですので、「將に我が国に生まれようとしている」と解するのが適當なではないかと思ひます。自力無効に気付き、内なる仏性が諸仏称賛の声を聞いて極樂淨土ごくらくじやうどという帰る場所の存在を知らされ喜んで、將まさにその国に往くのです。このことを十方衆生しやうじやうに向かつて呼びかけられるのです。

諸仏称賛によつて知らされ喜んで、報恩感謝のお念仏なましかないので、それが乃至十念なにしじゅうねんなのです。感謝ですから何回でも良いのです。数に拘とどまる必要はないのです。十八願は十七願と切り離せないのです。名号を聞くことによつて信心しんが発生し浄土へと導かれていく構造だからです。

住職多感

弔告

八月二十二日、法名釋嘉世かせい享年九十四(第十六世長善寺坊守及初代西光寺住職母)をもつて、この世の仕事をし終えて無事西方極楽浄土への往生を遂げました。

既に八月二十五日に密葬を行い、本葬は九月八日に行います。詳しい事は後日報告致します。

西光寺住職 吉弘円秀

来月の行事

- ・十二日 はじめの一步
- ・二十二日 日曜法座
- ・九日 寺カフエ
- ・十五日 草取り

発行

浄土真宗本願寺派(西)

西光寺

〒二九〇—〇〇二四
千葉県市原市根田

七二三—一

TEL : 0436-22-7412
FAX : 0436-24-1652
HP : <https://www.saikohji.net>
MAIL : saikohji@saikohji.net